

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本大会は2024ワールドアスレティックス規則並びに2024年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。本大会要項により参加するパラ競技者についても競技規則の適応は同様とする。ただし障がいの特性により特別な配慮がされる場合は、最新のWorld Para Athletics(WPA)競技規則による。

2 練習について

(1) 練習は指定された練習場で係員の指示により行うこと。

会 場	7/12(金)	7/13(土)	7/14(日)
本競技場 (デンカビッグスワンスタジアム)	使用不可	7:00~8:20トラックのみ 競技終了後30分使用可能	7:00~8:20トラックのみ
補助競技場 (デンカスワンフィールド)	13:00~16:00トラックのみ 参加選手のみ	7:00~18:30 一部制限あり	7:00~16:30 一部制限あり
屋内練習場	13:00~17:00 参加選手のみ	7:00~19:30	7:00~17:00

(2) レーンの使用は下表のとおりとする。

レーン(本競技場/補助競技場)	短距離	中長距離周回	ハードル	リレー
H&B:1・2/H&B:1・2		○		
H:3~7/H:3~6	○			
B:3~7/B:3~6				○
H&B:8・9/H&B:7・8			○	

H:ホームストレート B:バックストレート

*補助競技場では投てき競技に合わせて使用レーンの制限される時間がある。

- 屋内練習場は走練習のみ使用できる。(砂場の使用不可)
天候により、屋内練習場にハードルを設置する場合がある。
- 用具を用いての投てき練習は全て禁止する。ただし、用具を持たないやり投げの助走、円盤投・ハンマー投のターン練習のみ可能とする。
- ミニハードルやメディシンボール・牽引用チューブなどの練習器具を持ち込んでの練習を禁止する。
リレーのバトンのみ持ち込み可能とする。
- 補助競技場に棒高跳のマット設置は行わないため、跳躍練習はできない。

3 招集について

- 招集所は、第4ゲート側に設ける。出場者は補助競技場から招集所へ移動して点呼を受けること。
- 種目別招集開始・完了時刻は、プログラム記載または、新潟陸協HP記載の競技日程及び招集時刻とする。
- 招集の方法
 - 競技者は招集開始時刻前に、トラック種目は招集所で、フィールド種目は競技場所で待機し、係員から点呼を受ける。
その際、アスリートビブス、ユニフォーム、競技用スパイク及びジャズ・バック等の商標についての点検を受けること。
 - 競技者は競技役員の指示に従って、入退場すること。
 - リレーに出場するチームは所定の「リレーオーダー用紙」(招集所に置いてある)に記入し、第4ゲート側招集所に提出する。
8:00より受け付け、締切時刻は第1組 招集完了時刻の1時間前とする。
 - 招集完了時刻に遅れた競技者は当該種目を棄権したものと見なす。
 - 招集は必ず本人が行うこと。ただし、多種目同時出場により招集を受けることが難しい場合、最初の競技 招集前に多種目出場届を招集所で受け取り、招集所に提出すること。
 - 七種競技について各日 最初の種目は招集所で行う。その日の2種目以降は混成控室で混成競技者係が行う。

4 アスリートビブスについて

- アスリートビブスは主催者が配布したものを使用し、配布された大きさのままユニフォームに結着すること。
- トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識を競技者係より受け取り、右腰のやや後方に取り付ける。
中・高校生は16レーンまでの腰ナンバーカードを各学校で用意すること。ただし、不足分については招集所で配布する。
また、社会人・学生には配布する。
- 4×400mに出場する2走~4走は腰ナンバーを右腰やや後方につけること。。
- 跳躍競技出場する競技者アスリートビブスは背部または胸部のみでもよい。

5 ユニフォームおよび携行品の商標について

日本陸上競技連盟制定の「競技会における広告および展示物に関する規程」に従うこと。
規程に抵触している場合は、是正を求めらるので従うこと。(表彰時も含む)

6 競技用シューズについて

競技者が使用するシューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)についてはTR5を適用する。

※詳細は日本陸連HP参照: <https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>

7 競技について

(1) 不正スタートについて

一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。

- (2) レーン競技では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ること。
- (3) リレー競走及び走高跳のマークについては各自で用意すること。使用後は各自の責任で撤去すること。
- (4) 衣類運搬について、100m,200m,100mH,110mH,3000mSC,4×100mR(4走のみ)について実施する。
- (5) フィールド競技の試技時間は、制限時間告知器で表示して、黄色旗で残り15秒を知らせる。
- (6) 競技に使用する用器具は主催者が用意したものを使用しなければならない。
棒高跳用ポールは各自持参のものを使用する。
投てき用具の持ち込みを希望する者は、8:00～11:00までに用器具検査場(選手受付近く)にて検定を受けること。
持ち込みは1人2つまでとする。ただし、WA認証品に限る。WA認証番号の証明は持参者が行うこと。
検定に合格した用具は一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。
返却は用器具検査場で行う。競技終了後30分以内に受け取りにくること。(ただし、表彰により遅れる場合を除く。)
現地での返却はしない。借り上げた用具の破損について主催者は一切の責任を負わない。
- (7) フィールド競技における練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- (8) 競技中における口頭抗議について、今大会では受け付けないこととする。
- (9) 競技結果の正式発表時刻は大型スクリーンに映し出された時刻とする。
- (10) 競技中における助力はTR6に従い規制される。これに抵触の場合は、審判長から注意・勧告をするが、是正されない場合は、その種目から除外される場合がある。
スタンドからの映像機器等を吊り下げて見せる行為等は危険なため禁止する。
- (11) フィールド競技 国体少年種目、高校生対象オープン種目は3回の試技のみとする。
- (12) 棒高跳に出場する競技者は、支柱移動について現地競技役員に口頭で申告すること。
棒高跳のポールについては、招集開始前までに各自で移動させること。競技終了後も各自で運び出すこと。
- (13) 三段跳 踏切版は砂場から男子 12m 女子 8mと10mとする。
- (14) フィールド種目の手拍子について長さの競技・投てき競技は4回目の試技から可とする。
高さの競技はパスしている競技者を含めて残り8人以下になったラウンドから可とする。

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について(天候等の状況により変更する場合もある。)

		練習	バーの上げ方	
走高跳	男子	1m75/1m90/2m10	1m80-85-90-95-98-2m01 以降2cm	
	女子	1m35/1m55	1m40-45-50-53-56-59-61-64-67 以降2cm	
棒高跳	男子	2m90/3m50/4m50	3m00-30-60-90-4m00 以降10cm	
	女子	2m40/2m90/3m50	2m50	以降10cm
七種競技 走高跳		1m20/1m40	1m25	以降5cm

* ただし、状況によっては審判長の判断によりバーの上げ方を変更する場合がある。

* 第1位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cmとする。

9 欠場届について

本大会申込完了後に欠場する競技者は、必ず所定のフォーム(下記URL)に必要な事項を記載し、申請すること。

【URL】 <https://forms.gle/icXG2FWhxNv6NwRB9>



10 表彰について

1位～3位まで表彰を行う。表彰の際、選手はウエアまたはTシャツを着用のうえ表彰に臨むこと。

実業団Premium Challenge Games 実施種目についての表彰は行わない。

11 入場管理及び迷惑撮影防止について

本大会は入場無料により不特定多数の来場が予想される為、主催者規定に基づき、全来場者の入場管理を実施する。

来場時を含む下記場面において『テレサ-体温記録活用アプリ-』を用いるので、選手・チーム関係者並びに観戦者は、事前にアプリにご登録し、安心安全な競技運営に協力すること。

- (1) 選手・チーム関係者受付及びADカード発行
- (2) 撮影許可証発行：アプリでの申請並びに身分証明書提示により発行する。
- (3) 観戦者入場管理：スタンドに入場する全来場者は必ず登録すること。
- (4) 競技注意事項、スタートリスト・その他の案内については、テレサにて通知する。

下記URLより7/12(金) 12:00までにアプリの登録を行うこと。

【iPhone用】 <https://apple.co/2EqnHJo>

【Android用】 <https://bit.ly/2FR4kAm>



**スマートフォン以外の撮影機材の使用はスタンド中段から後方での撮影のみ許可する。立っての撮影は禁止する。
迷惑撮影が疑われる場合、主催者で撮影内容を確認し警察へ通報する場合がある。**

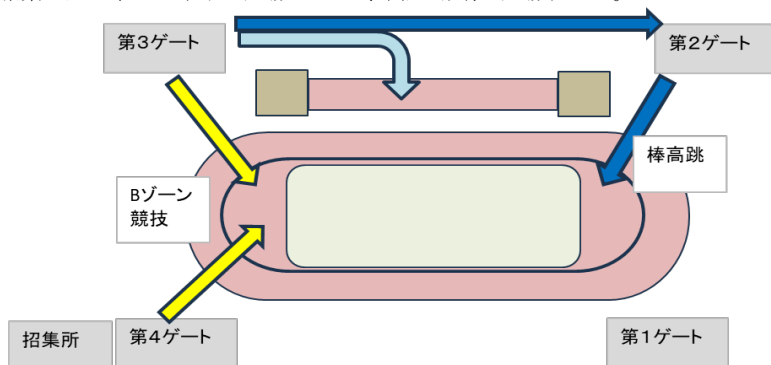
12 その他

- (1) 更衣室は室内練習場 内にテントを設ける。更衣テントは更衣のみに使用し、貴重品は各自の責任で管理すること。
- (2) 競技場内を移動する場合、選手はADを必ず着用すること。
- (3) スタンド最前列手すりには、応援旗・部旗・横幕・のぼり等を取り付けないこと。その他の場所については観戦・競技進行等の妨げにならない範囲で認める。ただし、主催者により移動や撤去をお願いする場合がある。
- (4) スパイクシューズを履いたまま競技場施設(スタンド等)には入らないこと。
- (5) 記録掲示は行わない。県陸協ホームページや速報ページで確認すること。
- (6) 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡すること。
- (7) 競技会中の傷害などの応急処置は主催者で行うが、その後の処置については、本大会で加入している傷害保険の範囲内とする。
- (8) 貴重品類は各自で保管すること。万一紛失・盗難にあっても主催者は責任を負わない。
- (9) 参加料振込証明については、エントリーシステム(決済システム)より、支払証明書を発行することができる。
- (10) 競技場および補助競技場は7:00開場。開場前の場所取りや並ぶ事も禁止する。
本競技場における選手待機場所はスタンド1層コンコースと補助競技場の許可された場所とする。
トイレ前や非常口、車イス優先観戦場所等は禁止とする。詳細は別紙を確認すること。
主催者により移動や撤去をお願いする場合がある。
補助競技場の投てきゲージ後方はコーチングエリアとし、場所取りを禁止する。
補助競技場からの地下通路や地下通路周辺および室内走路での場所取りを禁止する。
- (11) 今大会でTICは開設しない。そのため抗議は招集所に問い合わせること。
- (12) 混成競技控室は大会運営室1に設ける。
- (13) ごみは全て持ち帰ること。(留め置きをしない。)
- (14) 初日終了後、道具の留め置きは補助競技場では、スタジアムにつながるトンネル入り口から地下通路との合流点までとする。
補助競技場のチームテントについて、天幕を外し骨組みのみとする。
スタジアムではコンコースに留め置きも可とする。ただし、ブルーシート等で覆い飛ばないようにすること。
いずれの場所においても、各自の責任のもと管理し 通路を確保し通行の邪魔にならないよう留め置くこと。
盗難・紛失において主催者では責任を負わない。
- (15) 大会関係者が撮影した、写真・ビデオは主催者に使用権限があり、SNSなど情報発信に使用する場合がある。
予めご了承ください。
- (16) 提出書類等については、下記の通りとする。

	提出書類	提出先	提出時間
1	欠場届	競技注意事項の「9欠場届について」参照	
2	多種目同時出場届	招集所	第1種目の招集開始時刻10分前まで
3	リレーオーダー用紙	招集所	招集完了時刻の1時間前(2日目以降実施種目は前日も受ける)
4	棒高跳支柱移動届	現地(口頭)	競技開始時に口頭で競技役員に申告すること。
5	抗議申し立て (口頭)	招集所	正式記録発表後(当日次のラウンドがある場合) 15分以内 正式記録発表後(翌日の場合) 30分以内
6	上訴申立書 (文書)	招集所	審判長公式発表後(当日次のラウンドがある場合) 15分以内 審判長公式発表後(翌日の場合) 30分以内
7	記録証発行申請書	選手受付	競技終了後随時
8	プログラム訂正届	本部総務員	13日(土)10:00まで

13 入場について

現地招集となるフィールド種目の入場について、下記の動線で入場すること。



14 医療機関

新潟市民病院 新潟市中央区鐘木463-7 TEL.025-281-5151

15 棒高跳びボール輸送先

輸送する選手は責任を持って往復とも各自対応すること。

[送付先]デンカビッグスワンスタジアム 〒950-0933 新潟県新潟市中央区清五郎67-12 TEL:025-287-8811

16 大会競技結果

第78回新潟県陸上競技選手権大会

2024実業団 Premium Challenge Games in NIIGATA

URL: <https://nrkk.net/eventresult/2024KensenPCG/shtml/TimeTable.html>

